

見よ！

昨年臨時大會後一年にして、早くも天下の名士を迎え得るの陣容を作り得た此の臨時大會も亦、重大なる役割を敢行したのである。

C、總會準備

かくて、新興の意氣物甚く、昭和四年二月、「來る五月五日前後に定期總會を催ふす」旨發表し、各種議案を作製し、直ちに各船に配布して、當日不在の會員の意向を問ふべく準備した。

と同時に、入港の各船に本支部役員は出張して、各船毎に「船內大會」を開催したのであつた。

三、四月はまた、く間に過ぎた。

五月に入つた。

支部役員は本部に馳せつけた。

五月三日深更に亘つて役員會議の結果、五月七日を期して總會を開くべく決定直ちに左の準備に着手した。

- 1、會場係 三宮カフエーパリス借方等
- 2、宣傳係
- a、新聞社
- b、友誼團體
- c、個人

d、會員

へ夫々案内狀及檄文を發送した。

3、庶務係

a、ビフ、ボスターの作製、

b、會員、役員、來賓マージの作製、

c、其他

五月六日、準備は完了した。参考の爲めに案内狀及檄文を採録しやう。

御 案 内

昭和四年五月五日

日本司厨同盟郵司同友會

會長 久 留 弘 三

殿

謹啓

瀧風の候貴 益々御健勝の段奉賀候

陳者一昨年の争議擧げ後昨秋二年、一意復活の途をたどりつゝありし本會も、愈々、に再建第一回の定期總會を別紙プログラムの通り開催致す事に相成候に就いては、是非共御臨席の上激勵の辭を賜り度此段御案内申上候